

三一八三番

都^{みやこへ}辺^へに 君^{きみ}は去^いにしを 誰^たが解^とけか 我^わが紐^{ひも}の緒^を
の 結^ゆふ手^てたゆきも

三一八四番

草^{くさまくら}枕^{くら} 旅^{たび}行^ゆく君^{きみ}を 人^{ひと}目^め多^{おほ}み 袖^{そで}振^ふらずして
あまた悔^{くや}しも

三一八五番

まそ鏡^{かがみ} 手^てに取り^と持ち^もて 見^みれど飽^あかぬ 君^{きみ}に
後^{おく}れて 生^いけりともなし

三一八六番

曇^{くも}り夜^よの たどきも知^しらぬ 山^{やま}越^こえて います君^{きみ}
をば 何^い時^つとか待^またむ